

●漁況情報

- 7月下旬頃から、しらす漁が好漁となっています。漁船によっては1日に200kg以上の漁獲があります。群れが小さく操業が難しいようですが、漁が続く安堵しています。「湘南しらす」の公式サイト <https://shonan-shirasu.org/> をご覧になり、直売所にお越しください。
- 先月に引き続き、横須賀市大楠漁協では、かながわブランド品に登録されている「佐島の地だこ」が多い日には50杯/隻以上で盛漁になっており、武丸さんの地だこ漁が8月3日の神奈川新聞に掲載されました。地だこはタウリン豊富で、刺身以外に、小口切りして千切り生姜や冥加、ワカメと併せた、甘酢仕立てのキュウリ揉みが夏でもさっぱりしておいしいので、是非ご賞味下さい。佐島の地だこ取扱店 <https://blog.goo.ne.jp/sajima> 横須賀市大楠漁協HP <https://jf-oogusu.or.jp/>
- 横須賀市大楠漁協所属漁業者の一本釣りカツオ漁では、多い日には2t/隻と盛漁になっています。7月28日には、大室だして標識が付いたカツオが採捕され、同漁場にて6月1日に東京都水産試験場が標識放流したものでした。釣ったその日に水揚される「日戻りカツオ」は、漁がある日は地元魚屋さんでお買い求めできるので、ご利用下さい。 <https://blog.goo.ne.jp/sajima>



かながわブランド「佐島の地だこ」



「日戻りカツオ」は鮮度抜群です!

●浜の話題

- 横須賀市大楠漁協所属しらす漁を営む漁業者4軒は、7月から独自の資源管理計画の下、漁業収入安定対策事業の漁業共済と積立ぷらすに加入しました。不安定な漁模様の対策にしたいと、漁業者は話しています。
- 7月3日、三和漁協城ヶ島地区の漁業者がサザエ種苗の放流を行いました。当センターが生産した殻長20mm前後の種苗4万個を、地先の漁場へ撒きました。



サザエ種苗を



船に積込んで



海へ放しました

- 7月3日、腰越漁協及び鎌倉漁協所属漁業者は、(公財)相模湾水産振興事業団の支援を受けて、ヒラメ種苗を放流しました。当日は(公財)栽培漁業協会より購入したヒラメ種苗(平均74mm)1万尾(腰越)、5千尾(鎌倉)を、腰越では漁船で、鎌倉では浜からバケツリレーで浅瀬に放流しました。放流したヒラメは、海底に向かって元気よく泳いでいく様子を確認できました。



鎌倉地区のヒラメ種苗放流の様子

- 7月3,6日、長井町漁協と小坪漁協所属漁業者が育成管理している、ワカメ種苗の検鏡と環境測定を実施しました。種系は配偶体が濃い目で確認され、適正な状態でした。夏場の水温上昇に備えて、育成小屋内の照度を300ルクス前後に暗く調整して、ワカメ種苗の夏眠の準備を整えました。



ワカメ種苗を夏眠させるため種苗育成小屋に網等を被せ照度調整しました

- 7月4,18,25日、8月1日は長井町漁協潜水部会、7月4,11,25日は横須賀市大楠漁協所属漁業者が、磯焼け対策の一環で、素潜りで地先海域のウニ駆除を実施しました。この取組みも長井では10年目、大楠では8年目となり、7月11,18日と8月1日に普及員が同行しましたが、3~5mの漁場ではガンガゼは昨年と比べて若干減少し、カジメの点在も確認できました。一方で、浅場にはムラサキウニが依然として多く、両地区共に今後もウニ駆除をより一層強化して行くそうです。



素潜り漁を営む若手からベテランまで一丸となって取り組みました 大楠(左)長井(右)

- 7月4日、県内の一本釣りの漁業者で構成される神奈川県小釣漁業連絡協議会の総会が、県水産技術センターで開催されました。会長のあいさつに始まり、会議では、令和4年度事業・決算報告や令和5年度事業計画・予算の承認などが行われました。総会終了後には県水産技術センター職員2名から、今後の海況予測とキンメダイ資源動向について話題提供が行われ、出席した漁業者からは今後の黒潮流路の動向やキンメダイのTAC対象化等について質問が出されました。



会員漁業者が集いました



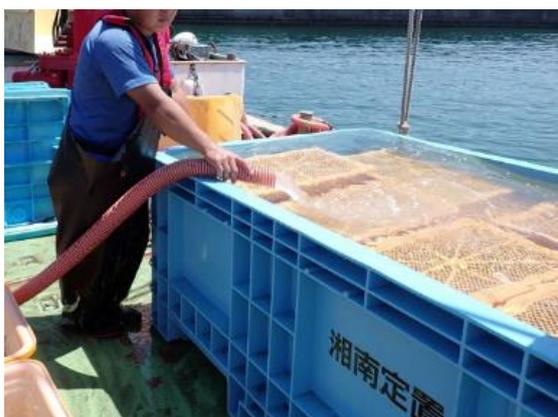
講演「黒潮大蛇行 6年目へ」

- 7月5日、水産技術センター資源管理課は、同課で生産したトラフグ稚魚約 20 千尾（全長 56 mm）を鴨居漁港で放流しました。活魚車から直接ホースを使って放流し、ホースから飛び出すと元気に海に潜っていきました。最後は、バケツを使って放流しました。



放流種苗とバケツによる放流の様子

- 7月11日、大磯二宮漁協、岩漁協、真鶴町漁協は、（公財）相模湾水産振興事業団と合同で合計約 38,300 尾（大磯二宮 13,400 尾、岩 10,500 尾、真鶴町 12,900 尾）のヒラメ種苗をそれぞれ地先漁場へ放流しました。また、同日に福浦漁協は 1,500 尾のヒラメ種苗を地先漁場へ放流しました。



海水をかけながら漁場まで運搬



放流の様子

- 7月13日、小田原市漁協、同刺網部会、（公財）神奈川県栽培漁業協会及び（公財）相模湾水産振興事業団は4者合同で、合計4万7千尾のヒラメ種苗（平均全長 77mm）を地先漁場に放流しました。



放流の様子

- 7月17日、（一社）全国漁業就業者確保育成センター主催の漁業就業支援フェア2023が東京都港区の都立産業貿易センターで開催されました。全国の漁業関係者がブースを設け、来場者に地元漁業への就業案内をしていました。本県からは、県漁連・県水産課、県漁業士会（小田原）、大磯二宮漁協・有限会社湘南定置、運海丸（福浦漁協）、住吉漁業株式会社（全国遠洋かつお・まぐろ漁業者協会）の5団体が出展しました。県漁業士会のブースでは小田原地区の漁業士2名が来場者に小田原の漁業について説明を行いました。全体で188名の来場者があり、本県ブースで熱心に質問する来場者も見られ、就業につながることを期待されます。



来場者に説明の様子

- 7月19日、（公財）神奈川県栽培漁業協会と（公財）相模湾水産振興事業団は、大磯二宮漁協、平塚市漁協及び茅ヶ崎市漁協立ち会いのもと、各浜地先で1万8千～2万8千尾のマダイ種苗を放流しました。



活魚車からサイフォンで放流



泳いでいく種苗

- 7月20日、三和漁協城ヶ島地区の漁業者が、藻類を食害するアイゴの捕獲を行いました。捕獲尾数は少なめでしたが、成熟が進んで腹部が大きく張った個体がみられました。暫く間をおいてから作業を再開するとのこと。



捕獲されたアイゴ

- 7月20日、江の島片瀬漁協、(公財)神奈川県栽培漁業協会及び(公財)相模湾水産振興事業団は3者合同で、マダイ種苗約2万6千尾を放流しました。
- 7月21日、(公財)神奈川県栽培漁業協会と(公財)相模湾水産振興事業団は、小田原市漁協、岩漁協、真鶴町漁協及び福浦漁協立ち会いのもと、各浜地先で1万5千~2万7千尾のマダイ種苗を放流しました。
- 7月21日と25日、長井地区でトラフグ種苗放流がありました。25日は、長井町漁協福会所属漁業者が漁獲した成熟親魚より、当センター研究員が人工採卵して育てた種苗(49mm、4214尾)を、漁業者と海洋科学高校の生徒が放流しました。当県ではトラフグの人工採卵は初の試みで、当日は新聞等の取材が多くあり、「相模のとらふぐ」の魅力と合わせて各紙に掲載されました。活が良く優良な種苗だったので、漁業者からは人工採卵種苗放流尾数の拡充を求める声がありました。

新聞各紙デジタル版掲載ページのリンク

毎日新聞 <https://mainichi.jp/articles/20230728/k00/00m/040/403000c>

東京新聞 <https://www.tokyo-np.co.jp/article/267498>

水産経済新聞 <https://www.suikei.co.jp/トラフグ放流、地場産親魚で初種苗/>

タウンニュース <https://www.townnews.co.jp/0501/2023/07/28/689708.html>



武内研究員からの説明の様子



種苗放流の様子



活が良く優良な種苗でした

- 7月22日、(公財)県栽培漁業協会と(公財)東京湾南部振興事業団は、マダイ稚魚60千尾(全長63mm)を久里浜地先に放流しました。
- 7月22日、しらす漁業者で構成する神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会(しらす協議会)の「湘南しらす」公式サイト(<https://shonan-shirasu.org/>)は、開設して一周年を迎えました。「湘南しらす」の公式サイトでは、直売所の地図や情報、しらす船曳網の操業シーンなどを見ることができます。ぜひアクセスしてみてください。また、しらす漁業者の皆様におかれましては、公式サイトの充実のため積極的な情報のご提供をお願いいたします。



「湘南しらす」公式サイト



公式サイトへのアクセスはこちら

- 7月27日、腰越漁港で「腰越漁協みなとまつり」が盛大に開催され約1600名の来場がありました。当日は定置網見学会や地魚直売、（公財）栽培漁業協会が生産したマダイ稚魚放流（千尾）や腰越～鎌倉クルーズ等、海と魚を満喫できるイベントで盛り上がり、遠方からも多くの来場がありました。
JF 腰越漁協ブログ <https://blog.goo.ne.jp/koshigoegyokyou>



会場となった腰越漁港



マダイ稚魚放流の様子

- 8月5日、茅ヶ崎市漁協は、茅ヶ崎漁港多目的広場で直売イベント「ちがさき^{シーサイド}SeaSideマルシェ」を開催しました。刺網で漁獲されたサザエやイセエビの直売、同漁協所属漁師によるキッチンカーでイセエビのみそ汁等が販売されました。第1回、第2回のイベントは天候に恵まれず中止となっていました。このたびは好天に恵まれ開催できました。毎月第1土曜日開催しますので、ぜひお越しください。



サザエやイセエビの販売



漁師のキッチンカー

- 8月6日、第30回小田原みなとまつりが小田原漁港とその周辺で開催されました。その日に水揚げされた新鮮な地魚を買うことができるイベントや、定置網漁業の見学等、大変盛況でした。



相模湾ゆかい探検



さわる水族館

- 8月以降、長井町漁協が出店しているJA 大型直売所「すかなごっそ」さかな館に、藤沢市漁協のかながわブランド品「湘南はまぐり」が加わり、人気となっております。地元長井の「湘南しらす」「塩蔵わかめ・荳わかめ」製品と合わせて、3種のかながわブランド品を取り揃えておりますので、ぜひご利用下さい。<http://jf-nagaimachi.info/free/sakana-kan>



湘南はまぐり、湘南しらす、塩蔵わかめ製品、地だこ等が人気です！

●お知らせ

- 東京湾の貧酸素水塊が拡大しています！
今年8月に入ってから、過去に例を見ない程広範囲に貧酸素水塊が分布しております。担当の赤田研究員によると、猛暑の皿の日が続くと表層と底層の水温差が大きくなり成層状態が発達することで、貧酸素水塊が拡大する傾向があります。台風などで一時的に貧酸素が解消するかもしれませんが、9月～10月頃までは引き続き貧酸素水塊にご注意ください。

活魚等を海面で活かす場合には、水温・貧酸素情報と合わせてその場所の酸素濃度のチェックが重要です。貧酸素水塊の情報はこちら（「東京湾溶存酸素情報」で検索）でご確認ください。

- 神奈川県東京湾溶存酸素情報

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mx7/cnt/f430693/p550034.html>

- 千葉県貧酸素水塊分布予測システム

<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-suisan/suisan/suisan/hinsanso/>



- 漁業士会県内視察調査「海ぶどうの陸上養殖」について 参加者募集のお知らせ
8月8日の漁業士会役員会で、県内の先進事例について県内視察調査を実施することになり、今年度は小坪地区で取り組んでいる「海ぶどうの陸上養殖」について視察することになりました。神奈川県漁業士会員、或いは、会員以外の県内の漁業者及び漁協関係者も参加できますので、参加希望の方は最寄りの普及員か漁業士会役員に8月30日までにお知らせ下さい。
日時：9月14日(木)14:30～1時間程度 集合場所：小坪漁港 講師：ヴェルデ丸



簡易な陸上水槽での海ぶどう生産方法と収支・販売状況等について視察します

○ 平塚市漁協の「地どれ魚直売会」のお知らせ

日時 8月18日（金曜日）販売開始 15:00～（整理券配布 13:30～）

場所 平塚漁港（新港荷捌き施設）

4月から12月の毎月第4金曜日に開催していますが、8月は花火大会のため開催日を変更しますのでご注意ください。漁協ウェブサイト <https://www.jf-hiratsuka.org/jidoresakana>